

市議会からのお知らせ

第1回定例会を開催

第1回定例会は、3月2日から26日までの25日間を会期として開催し、市長と議員が提案した議案を審議し、すべて原案どおり可決しました。

大綱質問

業の考え方

▼シングルマザー安心サポート事業について(シングルマザーに対し生活支援を図ることによる移住・定住促進の考え方)

▼保育所・児童館の環境整備について(保育所・児童館の現状と環境整備の考え方)

▼行政運営について(働き方改革推進の考え方)

【折笠議員】

▼三笠市笑顔で心をつなぐ手話言語条例の制定について(条例制定に伴う施策の基本的な方向や推進施策の考え方)

▼コミュニティ・スクールについて(本市におけるコミュニティ・スクールの現状と今後の考え方)

【武田議員】

▼自立支援教育訓練給付金事業及び高等職業訓練促進給付金事業について(自立支援教育訓練事業と高等職業訓練促進給付金事業の考え方)

【畠山議員】

▼市立三笠高等学校について(指定校推薦枠の導入の可能性、三笠高校の財政面での安定運営)

▼学校教育について(新学習指導要領)

▼幾春別川総合開発事業について(桂沢湖周辺の開発の現状)

【齊藤議員】

▼食のまちづくりについて(三笠高校生の出身地とコラボした食材等の活用)

▼情報通信環境について(情報通信環境整備の現状と今後の見通し)

▼シングルマザー安心サポート事業について(生活支援に係る基本的な考え方)

▼協働市民参加について(市民参加に対する考え方)

【只野議員】

▼高校生レストランについて(教職員体制の現状と今後、レストランの管理体制、レストランの運営、キッチンスタジオの活用)

▼介護保険について(介護報酬改定に伴う影響、総合事業への移行に伴う影響、周知・相談体制)

▼市立三笠総合病院について(診療報酬改定の影響、医師確保の見通し、療養病棟、経営改善に係る成果と今後の取り組み)

主な議決内容

市長提案は、三笠高校生が食の

スペシャリストとなるための力を身に付けるとともに、食に関する活動拠点施設として新規に研修体験学習施設を設置する「三笠市食の研修体験学習施設設置条例」、手話への理解を促進し、手話

を使用する市民が安心して暮らすことのできるまちの実現に向けた「三笠市笑顔で心をつなぐ手話言語条例」などの条例制定3件

第7期介護保険料事業計画に基づく介護保険等の改正に伴い必要な改正を行う「三笠市介護保険条例の一部改正」など条例改正15件

病院事業会計の資金不足に対する補助金4億9千300万円を盛り込んだ「平成29年度三笠市一般会計補正予算」など補正予算4件

平成30年度予算編成に当たり、「第8次総合計画の確実な推進」及び「三笠市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進」に加え、新しい発想を取り入れた中で「希望に満ちた元気産業都市づくり」の推進として、子育て支援、高齢者対

策・地域特性を活かした経済・産業活性化対策などに重点配分した「平成30年度一般会計予算」など予算8件

そのほか「第8次三笠市総合計画の基本計画の一部修正」1件、「土地の取得」1件、「三笠市教育委員会教育長の任命」1件、「三笠市監査委員の選任」1件、計34件をい

ずれも原案通り可決しました。また、議員提案では「議会運営委員会及び常任委員会所管事項調査」1件を原案どおり可決しました。

今回の定例会では、41の方が傍聴しました。次回の定例会開催は6月です。皆さんの傍聴をお待ちしています。

本会議の会議録については、出上がり次第、三笠市ホームページ内の「三笠市議会」に掲載しますので、ぜひ一読ください。また、市役所1階市民生活課市民室と公民館内図書館入り口横にも会議録を閲覧できるよう設置して

います。

【問合せ】議会事務局議会係 ☎ 3194

